

2023/3/19

M. Sugai

ChatGPT が文章を作る方法の一例

具体例

マルコフ連鎖(前の時点の状態によって次の時点の状態が決まるというもの)を使った文章の生成

最初の言葉：「おなかが」

次に来る言葉の確率：60%の確率で「空いたので」、「減ったので」、40%の確率で「いっぱいなので」、20%の確率で「痛いので」。5%の確率で「張ってきたので」

「空いたので」を採用

「おなかが空いたので」の次に来る言葉の確率：60%の確率で「レストランに行って」、30%の確率で「家に帰って」、20%の確率で「仕事を止めて」

「レストランに行って」を採用

「おなかが空いたので、レストランに行って」の次に来る言葉の確率：60%の確率で「食事をした」、60%の確率で「ごはんを食べた」、5%の確率で「お酒を飲んだ」

上で作られるいくつかの文章の中で確率的に一番高い文章を採用する。

=>「おなかが空いたので、レストランに行って食事をした。」